

广东培正学院 2026 年普通高等学校专升本招生考试

《综合日语》考试大纲

I. 考试性质

普通高等学校专升本招生考试是由专科毕业生参加的选拔性考试。高等学校根据考生的成绩，按已确定的招生计划，德、智、体全面衡量，择优录取。该考试所包含的内容大致稳定，试题形式多样，对学生把握本科目的情况有较强度度的识别、区分能力。

II. 考试内容及要求

一、考试基本要求

考虑到招生对象主要为日语专业专科毕业生，并且考试合格被录取后将升入日语专业本科三年级学习，故本科目的考试着重考核考生是否已经达到大学日语专业本科第二学年末的水平。考试的内容以大学日语专业二年级期末应掌握的日语基础知识为核心内容。本科目选用全国多所高校日语专业主流教材——上海外语教育出版社出版的《日语综合教程》第三册、第四册作为核心参考资料，其主要内容划定为本科目考试的出题范围。本科目考试的出题难度，大致对标日语能力考试 N2 水平。（日本語能力試験 N2: Japanese Language Proficiency Test N2）。

二、考核知识点及考核要求

本大纲的考核要求分为“识记”、“领会”、“应用”三个层次，具体含义是：

识记：能解释有关的概念、知识的含义，并能正确认识和表达。

领会：在识记的基础上，能全面把握基本概念、基本原理、基本方法，能掌握有关概念、原理、方法的区别与联系。

应用：在理解的基础上，能运用基本概念、基本理论、基本方法分析和解决有关的理论问题和实际问题。

专题一 日语综合教程 第三册

一、考核知识点

- 1、《日语综合教程》第三册中的单词
- 2、《日语综合教程》第三册中的固定搭配

3、《日语综合教程》第三册中的句型

4、《日语综合教程》第三册中的本文

二、考核要求

1、识记

(1) 《日语综合教程》第三册单词的发音、词性、中文释义

(2) 《日语综合教程》第三册单词的日文汉字规范书写

(3) 《日语综合教程》第三册固定搭配的释义

2、领会

(1) 近义词汇、反义词汇的辨析

(2) 句型的接续

3、应用

(1) 在阅读和翻译中，正确理解并运用所学日语词汇和句型

(2) 分析日语原文结构，并准确、通顺地转换成中文

(3) 处理翻译中的常见问题，如词义选择、语序调整等

专题二 日语综合教程 第四册

一、考核知识点

1、《日语综合教程》第四册中的单词

2、《日语综合教程》第四册中的固定搭配

3、《日语综合教程》第四册中的句型

4、《日语综合教程》第四册中的本文

二、考核要求

1、识记

(1) 《日语综合教程》第四册单词的发音、词性、中文释义

(2) 《日语综合教程》第四册单词的日文汉字规范书写

(3) 《日语综合教程》第四册固定搭配的释义

2、领会

(1) 近义词汇、反义词汇的辨析

(2) 句型的接续

3、应用

- (1) 在阅读和翻译中，正确理解并运用所学日语词汇和句型
- (2) 分析日语原文结构，并准确、通顺地转换成中文
- (3) 处理翻译中的常见问题，如词义选择、语序调整等

III. 考试形式及试卷结构

- 1、考试形式为闭卷，笔试，考试时间为 120 分钟，试卷满分为 100 分。
- 2、试卷内容比例：第一专题占 70%，第二专题占 30%。
- 3、试卷题型比例：单选题占 30%，翻译题占 40%，阅读理解题占 30%。
- 4、试卷难易比例：易、中、难分别为 30%，50%，20%。

IV. 参考书目

- 1、《日语综合教程（第三册）》，周星、徐志强、赵鸿编，上海外语教育出版社，2022 年 9 月
- 2、《日语综合教程（第四册）》，吴大纲编，上海外语教育出版社，2022 年 10 月

V. 题型示例

問題Ⅰ. _____ 下線を引いた言葉に、A. B. C. D から正確な読み方の一つを選びなさい。

（选择划线单词正确的读音，每小题 1 分，共 5 分。）

1. 山に行くと、自分で何かするというよりも、周囲の状況によって動かされている。
A. しゅうい B. しょうい C. しゅい D. しょい
2. 行動の主体は自分ではなく、環境の方である。
A. こうどう B. こうとう C. こどう D. きゅうどう

問題Ⅱ. _____ 下線を引いた言葉に、A. B. C. D から正確な漢字の一つを選びなさい。

（选择该单词正确的汉字写法，每小题 1 分，共 5 分。）

1. ここ何十年かぼくたちはなんじゃくになりすぎた。
A. 難事 B. 軟弱 C. 何弱 D. 何若
2. 山にはじさんしないかぎり水もないのだ。

- A. 自負 B. 自讃 C. 持負 D. 持参

問題Ⅲ、次のA. B. C. Dの中から一番正しいものを一つ選んで、解答用紙の適当なと

ころに書きなさい。(从 ABCD 中选择一个正确的答案，每小题 1 分，共 20 分。)

1. 負けるとは知っていたが、()彼に挑戦した。
A. ただ B. あえて C. つい D. かえって
2. わたしは何でも食べます。食べられるものなら、食べ()くらいです。
A. たくないものもない B. られないものもある
C. ないものはない D. たいものがある
3. 学生である()、一生懸命勉強しなければならない。
A. 以上 B. として C. のに D. かぎり
4. 今回はうまく行くとした。()、やはり失敗した。
A. ところで B. それに C. だから D. ところが

問題Ⅳ、次の日本語を中国語に訳しなさい。(将下面的句子翻译成中文，每小题 4 分，共 20 分。)

1. 山にしても海にしても、また極地や密林にしても、もともと人が暮らすのにふさわしくない場所だから、あえてそこへ行くことで自分を試す。
2. そういう気負いが人を冒険にかちたてるのだと単純に信じていた。

問題Ⅴ、次の中国語を日本語に訳しなさい。(将下面的中文句子翻译成日文，每小题 4 分，共 20 分。)

1. 看他最近的样子，总觉得好像有什么心事。
2. 我们的产品销售得很好，但是也不能掉以轻心。因为新产品会不断地出现。

問題Ⅵ、次の文章を読んで、(問1)から(問10)の中に書き入れる最もよいものを

A. B. C. Dから一つ選びなさい。(阅读下面文章，选择适当的选项。每小题 1 分，共 10 分。)

解剖学は正常な人体を扱う。(問1)、正常な身体とはどんなものを(問2)。それが分かれば病気が分かる。それには健康な身体と病気の身体を比較してみればいい。

(問3)解剖というのは、亡くなった人について行う。本人が死んでいる(問4)、どこかが悪かったはずである。しかし、悪くないところもあるから、死体が解剖の役に立つ。死んだ人でもどこもかしこも^(注1)悪いということはない。逆に、健康なく(問5)でいても、どこもかしこも大丈夫ということはない。ある年齢になれば、どこか具合が悪くて当然である。古い車のようなものだ。

考えてみると、世の中に健康だけが存在する、というわけにはいかない。健康とは病気に伴ったもの、つまり実は(問6)な概念である。

自分は全く健康だ、病気などしたことがない——それはよいことか。もしそういう人がいれば、病人の気持ち分からないであろう。苦痛は同じ苦痛を経た人(問7)、正しく理解される。私はまったくケンコウな人だけが住む社会に住むつもりはない。

(問8)とは、なにか。それは本人が苦痛を感じている状態、あるいは、やがて苦痛を感じるはずの状態といってよいであろう。精神科の患者さんは、やはり苦痛を感じている。苦痛を(問9)、反社会的な、異常な行動をする人があるとすれば、それは「法」の規則の対象になったとしても、医療の対象にはならない。

医療は本来、苦痛のない状態を目指している、と私は思う。しかし、それが完全に成就されることがよいこと(問10)。健康な人間だけの社会は、はたして健康か。

(注1)どこもかしこも: 広く全体に

問1. A いわば B つまり C いわゆる D ようするに

問2. A 知ってもいい B 知るんだ C 知らない D 知ろうとする

問3. A そこで B そして C それに D しかし

問4. A いじょう B かぎり C からには D あげく

問5. A もの B わけ C つもり D はず

問6. A 具体的 B 抽象的 C 相対的 D 絶対的

問7. A にしたがって B によってのみ

C にもとづいて D にともなってから

問8. A 健康 B 病気 C 苦痛 D 医療

問9. A 感じて B 感ぜずに

C 感じようとして D 感じるわけがない

問10. A かいなか B やいなや

C いなかった D ではないか

問題Ⅶ. 読解。次の文章を読んで、後の問に答えなさい。（阅读下面文章，回答问题。

每小题 2 分，共 20 分。）

ひとは食わずには生きていけない。そして食べるためには、食べるものを作らなければならない。狩猟民や採集民にしても、獲物や採集物を、調理もせずに食べるのはまれであろう。調理は、人間生活におけるもっとも基礎的な行動であることは疑いない。火がしばしば文明の象徴とされるのも、おそらくそういう理由からであろう。

が、この調理というとなみに、奇妙なことが起こっている。独身の人たちにかぎらず、（問 2）料理をしないひとが増えてきたというのは、正確な数字情報はないけれども、コンビニエンス・ストアやデパートの地下の食料品売り場、あるいは夜の居酒屋などの風景を見るがぎり、どうもたしかな事実のようである。昼休みともなると、みずから調理したお弁当を開けるひとはさらに少なくなる。ほとんどのひとが社員食堂に行くか、弁当を買いに行く。パンやスナック菓子ですませるひとも少なくない。

問 1：文章によると、調理について正しい説明はどれですか。

- A. 調理は人間の生活の中で最も贅沢な行動である。
- B. 調理は人間の生活の基礎的な行動であり、文明の象徴でもある。
- C. 調理は狩猟民や採集民にはまったく必要なかった。
- D. 調理は現代ではほとんど忘れられた行動である。

問 2：最近、料理をしない人が増えていることを、筆者はどのように判断していますか。

- A. 正確な統計データがあるから。
- B. コンビニやデパートの食品売り場の様子から感じるから。
- C. 政府の報告書に書いてあるから。
- D. 多くの人が昼休みに自分で弁当を作っているから。

問 3：昼休みに多くの人はどのように食事をしますか。

- A. 家に帰って料理をする。
- B. 自分で作った弁当を食べる。
- C. 社員食堂に行くか、弁当やパンを買う。
- D. ほとんど食事をしない。